令和5年度 セルフモニタリング報告書

令和6年4月30日

施設名	勇払マリーナ
指定管理者名	株式会社ベルポート北海道
所管課名	苫小牧港管理組合 総務部 港湾政策室 業務経営課

モニタリング項目	指定管理者コメント	自己評価	参考資料
1 事業計画の達成度			
事業計画の内容に従い、適切に施設の管理運営が行われたか。	事情計画に従い、管理運営方針を作り具体的な目標を掲げて取り組み、適切に施設の運営管理を行った。	A (B) C D E	⑧、②、⑦
利用者の増加、利用率の上昇、利便性の向上などの目標は達成されたか。	保管契約数は令和4年度が137隻、令和5年度が127隻で10隻(7.3%)の減、出帰港数は令和4年度が2,659回、令和5年度が2,313回で13%減であった。保管契約数の減少は高齢化により船を手放すという理由が多数、出帰港数の減少は契約数の減少に付随するものであるが、海水温の変動(温暖化)により釣れる魚の種類が変わり、出港回数が減っているというケースも見られる。	A B (C) D E	⑦、②、⑧
自主事業は計画どおり行われたか。	海上釣り堀、公園の有効利用の検討については費用面の負担が大きく実施できなかった。牡蠣販売は昨夏の猛暑の影響により品薄が続き価格面での折り合いがつかず取り扱いを断念した。その他の事業については概ね計画通り実施できた。	A B (C) D E	⑧、②、⑦
地域や関係機関等と協力・連携した取組が行われていたか。	トライアスロン大会、マラソン大会、花火大会、神社例大祭など地域行事へ積極的に参加及び協力した他、苫小牧市が勇払地区で進める脱炭素実証事業への参画、苫小牧海上保安署、苫小牧漁業協同組合と連携し利用者の安全航行に対する啓蒙活動を行った。	(A) B C D E	⑦、⑧
2 利用者への対応			
利用者の意見・要望の把握は適切に行われているか。	施設利用者に対しアンケート調査を行っており、R5年度の回収率は40% (前年43%)であった。利用者ニーズ把握のため回収率向上に向けて引き続き周知を徹底したい。	A B (C) D E	③、⑦
利用者の意見・要望・苦情への対応は十分に行われたか。	前項のアンケート調査の他、管理棟エントランス、Bヤードハウスに意見箱を設置し意見、要望、苦情の把握に努めている。ハード面の意見については適時管理組合に報告、必要であれば修繕を依頼し、利用者のマナーに関しては公式LINEや掲示板を利用し注意喚起を行っている。	A (B) C D E	③、⑦
天候・修理・工事等による利用制限の説明・周知は適切に行われたか。	ホームページや公式LINEでの情報提供、施設内7か所に設置した掲示板による周知、対面による説明など適切に行っている。	(A) B C D E	③、④

3 管理運営の効率性			
経費の低減が図られているか。また、その取組は十分か。	経費の低減に努め、特に負担の大きい光熱水費については細やかな節約を徹底、利用者が使う船への給電に関しても節電を呼びかけ、電気料金が高騰している社会情勢にも関わらず削減することができた。需用費についてはR4年度10,360千円に対しR5年度は8,716千円へ削減できた。	Ⓐ・B・C・D・E	②、⑦
収入増加のための取組はされているか。	新規利用者獲得に向けてビジター利用者、レンタルボート利用者、ボート免許取得者への声掛けを行っている他、ホームページ、SNSなどを利用した宣伝活動を行っているが成果には結びついていない状況である。	A・B・Ⓒ・D・E	②、⑧
一部業務の再委託に要している経費は、適切な水準か。また、経費が最小となるような取組はされているか。	再委託として防火設備点検、電気設備点検、フォークリフト及びタイヤショベル自主特定点検、給油地下タンク法定点検、館内床清掃、汚泥抜き取りなど事業計画書に記載されている内容で実施、その支出経費は最小に抑えている。	Ⓐ・B・C・D・E	⑧、②
4 適正な管理運営			
職員の能力向上に向けた取組は行われたか(研修等)。	普通救命講習、2級船舶、1級船舶、特殊船舶、自衛消防訓練、タイヤショベル等運転研修などを行っている。	A・Ⓑ・C・D・E	⑦、②、④
安全対策(事故防止等)は十分だったか。	日常業務の一環でクレーンやフォークリフト、タイヤショベル、小型船舶の操作研修を行っている他、作業マニュアルの周知、作業実施時の無線による報連相を徹底している。	A・Ⓑ・C・D・E	⑦
人員配置及び職員の管理体制は適正か。	事業計画書に記載の通り適正に行われている。	⓪不適	⑧
施設の平等な利用等について、適切に処理されているか。(使用料の減免、還付含む)	施設利用は会員、ビジターともに平等な接遇を行っている。(使用料の減免、還付は行っていない。)	⓪不適	④、⑧
利用者の個人情報等について適正に管理が行われていたか。	利用者の個人情報及び鍵の管理については適正に保管、管理している。	⓪不適	②、④、⑧
収支の状況に不適切な点はないか。会計処理は適正か。	会計処理についてはマリーナ事業と本社事業で銀行口座を分けているが、会計ソフトは本社管理しており事業所と本社で二重にチェックしており不正経理防止に努めている。	⓪不適	②、④
施設・設備等の法定点検及び保守は適正に行われているか。	法定点検は消防設備点検、電気設備点検、自社管理船舶定期検査を実施している。	⓪不適	④
書類・備品等の管理は適正に行われているか。	関係書類、備品等については適正に管理している。	⓪不適	⑧
法令・協定書等を遵守し、適正管理が行われているか。	必要な関係法令、協定書については都度中身を確認し、適正に管理している。	⓪不適	⑧
管理組合と指定管理者との間で十分に連絡、連携が図られているか。	利用者からの意見、要望、苦情、施設の破損や事故、イベント開催について随時指定管理者から管理組合には報告しており、必要に応じて打ち合わせも行っており、十分に連絡、連携が図られている。	Ⓐ・B・C・D・E	⑧
5 地域貢献			
雇用・資材調達・再委託等、地域貢献に努めているか。	雇用については原則市内在住者と定めているが、条件、技能の関係で他市在住者も雇用している。資材調達、再委託についても船舶用品など特殊なものを除き原則市内事業者に発注するように努め、地域貢献を推進している。	A・Ⓑ・C・D・E	⑦、⑧

A	目標、事業計画を大幅に上回る取組がされており、管理運営状況は極めて良好である。
B	目標、事業計画どおりの取組がされており、管理運営状況は良好である。
C	概ね目標、事業計画どおり行われており、管理運営も適正で、特段問題は見られない。
D	目標、事業計画において一部未達成があるなど計画内容を下回っており、管理運営において一部不適切な部分があるなど、改善が必要と認められる点がある。
E	目標、事業計画の内容を大幅に下回っており、かなりの部分において、改善が必要である。

総合評価 A・**B**・C・D・E (該当するものに○)

4 適正な管理運営]において不適がある場合、その理由と今後の対応について

指定管理者の自己評価(全体を通して)

契約艇の減少については少子高齢化、レジャーの多様化など社会情勢の変化も要因のひとつであり、対策に苦慮しているが、既存利用者へのきめ細やかな接遇、ビジター利用者、レンタルボート利用者、ボート免許取得者への声掛けにより一層力を入れ、契約艇の減少に歯止めをかけたい。
施設管理運営業務、利用者への対応、管理組合をはじめ関係機関との連携、地域貢献については事業計画通り行えているので、引き続き適正な管理運営に努めます。